



テーマ「学校を元気にする特色ある児童会活動」

日立市立久慈小学校

1 はじめに

(1) ねらい

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら、児童がよりよい自分自身と学級・学校生活、人間関係をつくる。

(2) 久慈小学校の児童会の組織について

久慈小学校では7つの委員会の長と、3年生以上の各学級の代表児童（学級委員）で代表委員を組織し、学期に数回、児童会行事について話し合ったり、各委員会から各学級へのお知らせをしたりしている。委員会毎に、学校行事や強化月間を運営することで、児童の思いを反映し実現する児童会活動を展開できるようにした。

2 今年度実施した主な実践内容

(1) 児童会での取り組み

これまで常時委員会が行っていた毎日の国旗及び県旗の上げ下げを今年度より代表委員会の児童が行うこととした。例年、4月に実施している「1年生を迎える会」は、今年度は代表委員の児童のみで実施したが、久慈小学校の歴史を伝えたり、プレゼント贈呈を行ったりしてお祝いすることができた。9月4日の終業式の際には、新校舎と新体育館の建設に伴い53年間お世話になってきた体育館へ全校児童で感謝を伝えた。9月7日の始業式では、新体育館の使用が可能となり、今まで工事を担当してくださった工事関係者の方へ、感謝の言葉とお礼をみんなで伝え、大切に使用していくことを約束した。



【工事関係者へのお礼の様子】

(2) 各委員会での取り組み

委員会ごとの実践としては、美化委員会の児童が環境教育活動発表会に参加し、久慈小学校での草花や野菜の栽培、生き物の飼育活動、児童による清掃活動やPTAと連携して行ってきた奉仕作業などについて実践報告を行った。運動委員会では、久慈小の児童が安全かつ円滑に持久走大会の練習に取り組めるよう、ライン引きや校庭の石拾い、落ち葉集めを行った。久慈小学校では今年度、各学級で友達からやってもらってうれしかったことやその日の出来事で良いと感じた内容をハートに書き、「あったかハートの木」に貼っている。放送委員会では、各学年であった心温まるエピソードを、毎日給食の時間に放送することで、全校児童の他者を思いやる気持ちを育てる取り組みをしている。

3 成果と課題

感染症対策を行った上で、例年取り組んできた行事や児童会活動、委員会活動を何とか実施することができた。今後は、学級数の減少や高学年児童や担当の負担が大きくなってきていることも踏まえ、規模を縮小したり、内容を精選したりしながら今後の特別活動を機能させていきたい。

